2020 年 3 月 1 日

資料館通信　第75号

ふじみ野市立　上福岡歴史民俗資料館　埼玉県ふじみ野市長宮１－２－11　TEL 049－261－6065
大井郷土資料館　埼玉県ふじみ野市大井中央２-19-５　TEL 049－263－3111

大井郷土資料館　令和元年度特別展
「ふじみ野150年～明治から平成まで～」
を開催しました（令和元年10月23日～12月８日）

今回の特別展では令和への改元を記念し、明治時代から平成時代までの１５０年あまりのふじみ野市とその周辺地域における古文書や写真類、時代を象徴する生活用品や家電製品の移り変わりを展示し、人々の生活を振り返る内容としました。また昭和時代から平成時代はパーソナルコンピュータなどに代表される電子機器が急速に発展した時代で、人々の娯楽や遊びに与えた影響も大きいため、趣味や遊びなどに関する資料を展示公開し、主会場の大井郷土資料館以外に、上福岡歴史民俗資料館でも開催しました。

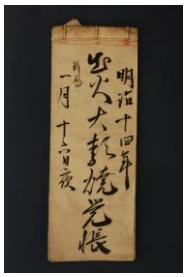
記念講演会「にっぽん家電のあゆみ」（講師：大西正幸氏）では、家電製品開発に携わった開発者による製品開発の苦労や工夫などをご講演いただきました。併せて特別展関連事業として地元出身クリエイターによるトークライブや、テレビ番組の製品開発のＤＶＤ上映会も実施しました。

大井郷土資料館常設展示室と郷土学習室の展示

大井郷土資料館の展示は、明治時代から平成時代までを４つの画期に分けて行いました。上福岡歴史民俗資料館では主に第４の画期について、上福岡駅周辺の昭和末期から平成時代の電子機器を使用したゲームや遊び、娯楽などに関する展示を行いました。

１．第一の画期　明治時代

明治時代の展示では、明治４３（１８８１）年の「入間郡福岡村水害誌」の掲載図や、明治１４（１８８１）年の大井宿大火の史料を展示しました。市内でも平成２９（２０１７）年と令和元（２０１９）年の台風による大きな被害（水害）が記憶に新しいため見学者の関心を呼びました。



「入間郡福岡村水害誌」「出火大類焼覚帳」

２．第二の画期　大正時代～昭和前期

当時市域内に住んでいた人々が日常使用した資料（アイロン・ちゃぶ台・食器類・初期の電球と鉱石ラジオ・あんか・火鉢・電気扇・紙製めんこ・ベーゴマなど）を展示し、他に回漕問屋福田屋の十代目星野仙蔵が尽力した東上線開通に関する資料なども展示しました。

東上線開通式祝辞

３．戦時体制　太平洋戦争

太平洋戦争を中心とする時期は、画期というより一つの大きな出来事のなかでとらえ、戦時体制下の困窮する人々の日常の暮らしぶりや、社会状況などを、陶磁器類をはじめとする様々な代用品などの資料を展示しました。また、東京第一陸軍陸軍造兵廠川越製造所（火工廠）内で使用された陶磁器類なども展示しました。

灯火管制の電球用かさ

４．第三の画期　戦後の高度経済成長期

昭和３０年代以降、日本全体が高度経済成長期で沸き返るなか、旧福岡町や旧大井村では急激に増加する人口と、変貌する街の社会状況や人々の暮らしを、当時の写真や家電製品を中心に展示しました。また、娯楽の中心の一つであった「福岡劇場（福岡東映）」に関する資料を展示しました。

福岡劇場（福岡東映）の招待券と当時の写真

５．第四の画期　昭和末期から平成へ

昭和の終わりから平成にかけ、パーソナルコンピュータなどの電子機器が急速に発展し、社会状況から人々の生活形態まで大きく変化しました。中でも通信機器や電子ゲームの進歩は著しく、現在ではポケットベル・ファミコン・たまごっちですら忘れられつつあります。また、中学生から高校生の若い世代にはライトノベルと呼ばれる小説群がヒットして、市内の図書館にもそうしたコーナーが設置されました。

ポケットベルとたまごっち

平成８～９年頃の上福岡市市民図書館ティーンエイジコーナー

※展示図録「ふじみ野１５０年」～明治から平成まで～は１冊 350 円にて販売しています。

展示レポート1　企画展　戦時代用としての陶器

上福岡歴史民俗資料館　令和元年７月２７日～９月１日

日中・太平洋戦争中の金属不足の代用に作られた陶磁器の品物を、東京第一陸軍造兵廠川越製造所（以下「火工廠」）の資料などを中心に展示し、当時の社会状況にも触れながら戦争について考える平和学習の機会として、また平和推進事業の一環として企画展を開催しました。

金属製品を陶磁器で作る試みは、昭和１３（１９３８）年ごろから始まり、前年の日中戦争の開始以降、金属製品に代わる用途として陶磁器製品が売れるようになりました。以後窯業業界もさまざまな代用品の開発に本腰を入れ始め、やがて太平洋戦争に突入し本格的に金属不足が始まると、国からも製造命令が出されるようになりました。

陶器製のガスコンロ

本来強度的に陶磁器で代用できないものも試作されましたが、金属より脆いという性質の強度を高める工夫をして完成した製品もあります。

展示はⅠ金属製品の陶磁器での代用、Ⅱ統制番号・国民食器、Ⅲ金属の節約運動から金属回収例、Ⅳ貨幣、Ⅴ陶器製兵器、Ⅵ終戦後の処理、の６つのコーナーで行いました。市内の発掘調査などで見つかった食器類や、資料館で収蔵している陶磁器資料（湯たんぽ、ガスコンロ、手榴弾、三式地雷甲型、手榴弾四型）など約６０点と写真やパネルなどを展示しました。また、９月２８日には市の平和推進事業の一環としてフクトピアで展示を行いました。

左上：火工廠で使用された国民食器

左下：一銭陶貨（金属の代用通貨の試作品で未流通）右：防衛食の陶器（缶詰の代用容器）

展示レポート2　企画展　和紙人形の世界 ～小さな昔のくらし～

大井郷土資料館　令和元年９月１０日～２９日　福岡河岸記念館　１０月５日～１１月１７日

令和元年５月に手作りの和紙人形１７点が大井郷土資料館に寄贈されました。針金に和紙を貼り付けて製作された人形は、昔のくらしや様子を詳細に再現しており、展示解説の補助や体験学習に役立つものです。

今回は大井郷土資料館と福岡河岸記念館で人形と、そのモチーフとなった収蔵資料約１４点を展示しました。

「おばあちゃんの昔話」を再現した場面では、和紙で作った箪笥と全く同じ実物の箪笥など多数の収蔵資料を展示し、人形の精巧さとかわいらしさに見学者の皆さんが感心していました。

和紙人形「おばあちゃんの昔話」

和紙人形の世界の展示

ふじみ野市の両資料館への資料の寄贈

平成31年２月から令和元年11月まで次の方々より、各種の文化財資料を寄贈していただきました。紙上をもって厚くお礼申し上げます。

市立上福岡歴史民俗資料館分

２月21日　わらじ　２点
草履（竹皮製）　２点
長着（女児用）　２点
長着（男児用）　２点
長着（男性用）　１点
市内　三角小学校

２月22日　蓄音機　２点
型紙（着物の染色用）　２点
レコード・ソノシート　１０点
レコード店の紙袋　１点
文書（屏風下貼他）　３０２点
富士見市　富田治明　氏

２月28日　電子式卓上計算機　１点

３月14日　プリントゴッコ　１点
市内　中里美子　氏

３月13日　蚊帳　１点
市内　西城満期子　氏

４月３日　座敷帚材料（糸）　３点
座敷帚用針　１点
小刀　１点
飾り糸　１点
請求書綴　１点
市内　星野春美　氏

４月18日　片手箒　１点
儀式用箒　１点
浪速帚　１点
箒の台　２点
市内　永倉一男　氏

５月18日　五月人形（子供大将）　１点
五月人形（弓・太刀）　１点
五月人形（鯉幟　他）　１点
五月人形（屏風）　１点
市内　金澤進　氏

６月10日　陶製手榴弾　１点
陶製手榴弾（破片・底部）１点
市内　江尻　征明氏

７月３日　浴衣（女児用）　１点
市内　菊口繁子　氏

７月４日　写真　９点
カメラ　１点
東京都　吉野興一　氏

７月18日　吉野龍湖書「至誠奉仕」　１点
市内　渡辺スミ　氏

10月９日　黒電話　１点
市内　原田シナ　氏

市立大井郷土資料館分

３月31日　机　１点
写真　（一式約２００枚）
市内　横山より子　氏

５月15日　和紙人形　１７点
市内　熊坂京子　氏

６月18日　桶・マンゴク・荷車・センバトマス　５点
市内　新井光男　氏

９月19日　H16 年彩の国まごころ国体大会旗・炬火リレー資料　一式
大井中央公民館落成記念カセットテープ　１点
第18回東京オリンピック関係レコード他レコード　５点
市内　須田豊　氏